

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	県立座間谷戸山公園		
所在地	座間市入谷3-5994		
サイトURL	http://www.zamayatoyama.kanagawa-park.or.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成5年4月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	平成21年度～平成26年度	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営の状況 提案に基づいて、ボランティア団体と情報共有しながら管理運営を実施し、観察林などエリアごとに相応しい維持管理を実施している。</p> <p>◆利用状況 前年度が前々年度に比べ大幅に増加したため、対前年度比は減少しているが、対目標比は118%となったため、S評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が75%となったため、A評価となった。</p> <p>◆収支状況 計画では除雪費用、スズメバチ駆除費用を計上していたが、支出する必要がなかったため支出が減少し、収支比率で101.3%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 樹木を全く切らないで自然のままに任せるべきとの苦情・要望が寄せられたが、腐朽木や劣勢木は倒木となり危険であることやエリア毎の樹木の管理方法を説明した。</p> <p>◆事故・不祥事等 管理作業中の職員の事故が4件発生したが、事故再発防止策を周知徹底した。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をAとした。</p>
S : 極めて良好な管理運営状況 A : 良好な管理運営状況 B : 一部改善が必要な管理運営状況 C : 抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	月2回程度	なし
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		事故発生後に随時モニタリングを実施し、事故再発防止策の確実な遂行を指導した。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>県民との協働による里山の自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民、市民団体等との協働・連携によるモニタリング ・ 運営管理マニュアルに基づいたエリア毎の維持管理 	<p>公園運営会議によりボランティア団体と情報共有しながら管理運営を実施した。観察林などエリアごとに相応しい維持管理を実施している。</p>	<p>提案の効果が認められた。引き続き里山の自然環境の保全に勤めて頂きたい。</p>
<p>豊かな自然環境を活かした絆の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と自然の絆づくり ・ 人と里山文化の絆づくり ・ 人と人の絆づくり 	<p>公園内の自然環境などを運営会議で情報交換し、公園利用者にも掲示板により情報発信している。様々なイベントを開催し、活動を通じてコミュニケーションの場作りに取り組んでいる。</p>	<p>提案の効果が認められた。引き続き各種イベントを開催して頂きたい。</p>
<p>利用と保全のバランスのとれた魅力ある公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが手軽に安全で安心して楽しめる公園 ・ 里山の魅力を学び楽しめるプログラムの提供 	<p>各施設を安全に利用できるように維持管理作業を実施しており、園路沿いの枯損木等を処理している。里山保全隊による活動をサポートした。</p>	<p>提案の効果が認められた。引き続き利用と保全のバランスを保って頂きたい。</p>
<p>公園の安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の安全管理 各種施設点検の実施 各種マニュアルの活用と整備 点検と連動した施設修繕 ・ 防犯対策の実施体制 	<p>公園施設等に起因する事故等は起きなかったが、指定管理者職員の作業中に事故が発生した。</p>	<p>提案の効果が認められた。職員及びボランティアが行う作業についてマニュアルを遵守し事故再発防止に努めて頂きたい。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
<p>自動販売機の設置</p> <p>東口広場、多目的広場、里山体験館で清涼飲料水を販売する。</p>	<p>事業計画通り実施された。</p>

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	〔参考〕直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	396,695	363,315	431,052	428,253
対前年度比			118.6%	99.4%
目標値	〔目標値設定根拠〕	361,000	361,000	361,000
目標達成率	平成18～20年度実績平均の95%	100.6%	119.4%	118.6%

〔 参考：最大利用可能人数 〕

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由 _____

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日4回、平日4回の計8回調査	花とみどり、清潔さ、安全性や安心感、スタッフ対応の各調査項目に比べ、総合評価が低い。

実施した調査の配付方法 利用者に直接配布 回収数/配付数 116 / 116 = 100.0%

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	66	18	8	17	3	112	満足：良く管理されている 不満：木を切りすぎる 不満：犬の糞・マナー
回答率	58.9%	16.1%	7.1%	15.2%	2.7%		
前年度の回答数	80	60	3	0	3	146	
回答率の対前年度比	108%	39%	348%	-	130%		

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	61,299	59,000	59,000	60,686	
指定管理料	61,299	59,000	59,000	60,686	
利用料					
その他収入					
合計	61,299	59,000	59,000	60,686	
対前年度比		96.2%	100.0%	102.9%	
対 計画比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	61,299	59,000	59,000	60,686	
支出額	61,281	57,787	58,101	59,886	
(内 納付金)					
対前年度比		94.3%	100.5%	103.1%	
対 計画比	100.0%	97.9%	98.5%	98.7%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	0	0	0	0	
収支差額	18	1,213	899	800	
対前年度比		6738.9%	74.1%	89.0%	
収入合計／支出合計の比率	100.0%	102.1%	101.5%	101.3%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※ の欄は記入不要。

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
H27.2	1,495	野鳥観察小屋基礎・壁補修

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等：300,000円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	その他	1 件	駐車場への渋滞がおきていた。	蛍鑑賞のためと説明、ご理解いただいた
		件		
職員対応	対面	1 件	植生保護エリアに伐採枝が積まれ、植物が潰されている	伐採した木や枝を片付けた
		件		
事業内容	意見箱	5 件	樹木を切りすぎる	腐朽木や劣勢木は倒木となり危険であることやエリア毎の樹木の管理方法を説明した
		件		
その他	意見箱	1 件	山間樹林地内の傾斜した細い園路でのランニングに対する苦情 犬の糞に関する苦情	パトロール、注意看板設置により注意した
	電話	2 件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
H26. 8. 31	職員が梯子に登りケヤキを剪定中にバランスを崩して落下し、骨折した。	作業マニュアルで原則禁止されている高所作業を実施した。	①作業マニュアルの遵守を事務局長が園長に指導。 ②安全管理の徹底を指導。
H26. 12. 23	職員が剪定中に左手の掌を切る。	受傷者の不注意。	①作業における注意事項の確認。 ②安全管理の徹底を指導。
H27. 1. 9	職員が笹刈中に積んであった丸太で転倒し、右足の甲を骨折。	受傷者の不注意。	①作業前の障害物の撤去やミーティングによる安全確認の励行。 ②安全管理の徹底を指導。
H27. 1. 19	公園利用者が木道から降りて植生観察後に足を踏み外して大腿部を骨折。	受傷者の不注意。	①救急車の要請、園内誘導。注意看板設置。 ②状況の確認。
H27. 2. 21	職員がかかり木を玉切りしたところ幹が右足に落ち打撲。	かかり木を安易に処理しようとしたため。	①直営及びボランティアの作業範囲を定めた事故再発防止策の周知徹底。 ②指定管理業務が事故再発防止策のとおり実施されているか確認、安全かつ適切な樹林管理に向けた県と指定管理者の打合せの実施。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したのもでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。